

広報あしや

2001年(平成13年)3月15日号

No.816

毎月1日・15日発行

発行 / 芦屋市役所(広報課)
☎0797-31-2121
〒659-8501
兵庫県芦屋市精道町7番6号
ホームページ
http://www.city.ashiya.hyogo.jp/
メールアドレス
info@city.ashiya.hyogo.jp



芦屋国際文化住宅都市建設法施行50周年記念事業を開催
3月3日、市民参加により、国際文化住宅都市建設法の施行50周年を記念して「記念講演会と市民コンサート」が開催され、会場のルナ・ホールいっぱい、参加者の歌声が響きました。

各地から春の便りが聞かれ、もうすぐ市内にも桜の花が咲き誇る季節、その桜の下、四月七日(土)と八日(日)に芦屋川河畔で、「芦屋さくらまつり協議会」主催による第十三回「芦屋さくらまつり」が開催されます。
「第二回ワールドミュージックフェスティン ASHIYA」など

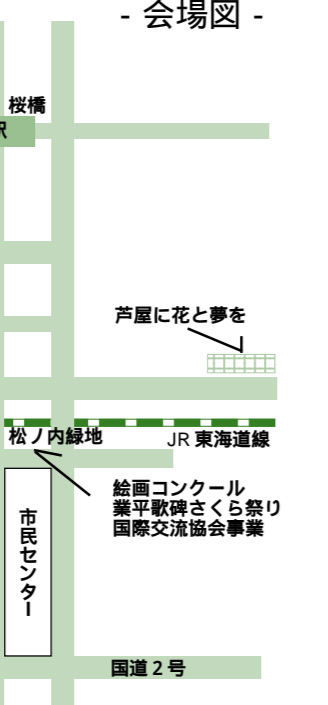
約四十団体のにぎやかな様子が、皆さんのお越しをお待ちしています。
うららかな春の一日をお過ごしください。
「第二回ワールドミュージックフェスタ in ASHIYA」など

周辺道路は、全面駐車禁止です。車での来場はお断りします。
四月六日(金)正午から八日(日)の終日、大正橋から国道二号線業平橋の間は、車両通行止めになります。
ご協力をお願いします。

- 4月7日(土)
午前11時～午後8時 緑 日
午後0時45分～1時 オープニング・セレモニー
午後1時～4時 イベント
(市内中学校吹奏楽部 婦人会フラダンスチーム 甲南大学ジャズ研究会 陸上自衛隊第3師団音楽隊) 第2回ワールド ミュージック フェスタ in ASHIYA
- 午後5時～7時
- 4月8日(日)
午前11時～午後8時 緑 日
午後0時45分～3時30分 イベント
(大阪芸術大学むつごろう雑技団 一宮町和太鼓クラブ 県立芦屋南高等曲演奏 スティールパン演奏) 第2回ワールド ミュージック フェスタ in ASHIYA
さくらまつり協賛 "海外旅行" 抽選会
- 午後4時～7時
- 午後7時～
- 詳しい内容は、新聞折込チラシでお知らせします



お祭りボランティア募集
案内、清掃、イベント運営補助など
問い合わせ
芦屋さくらまつり協議会事務局
(コミュニティ課内) ☎38-2007
芦屋ボランティアネットワーク・CO-A ☎/FAX 38-3985



春爛漫！好きです！桜も人も このまちも！ 第13回芦屋さくらまつり

問い合わせ先 芦屋市役所 広報課 ☎2007

新助役に中野正勝氏
2月27日の市議会で同意を得た中野正勝氏が、2月27日付で助役に就任いたしました。中野新助役は、建設部に属する事務等を担当します。
任期は、平成17年2月26日までです。
<プロフィール>
中野正勝(なかの・まさかつ)氏
平田北町在住。
58歳。兵庫県立兵庫工業高等学校卒業。都市計画部次長(街路担当)、建設部次長(街路担当)等を歴任。



<協賛イベント>
業平歌碑さくら祭り
日時 4月7日(土)午前11時～午後1時
会場 松ノ内緑地(市民センター北側、大正橋東詰)
内容 献句、短歌朗詠、お茶接待
問い合わせ 芦屋文化友の会事務局・加藤 ☎22-7201

ダイヤブロックであそぼう～ブロック2001コで何ができるかな～
日時 4月8日(日)午前11時～午後4時
会場 松ノ内緑地(市民センター北側、大正橋東詰)
内容 ダイヤブロックで何でも好きなものを作ってください
参加者には、両手ですくったダイヤブロックをプレゼント
参加費 100円
問い合わせ 国際交流協会 ☎34-6340

芦屋川の桜を描こう 春休み絵画コンクール
日時 4月4日(水)午前11時～午後2時
雨天の場合、4月5日(木)
受け付け 松ノ内緑地(市民センター北側、大正橋東詰)
資格 小学生(新1年生を含む) <全員に参加賞進呈>
持ち物 画材用品(画用紙は主催者側で用意します)
作品提出 当日受付場所、作品を受け付け(午後2時30分まで)
作品展示 5月1日～13日モンテメール5階(多数の時は4階通路横も)
問い合わせ 芦屋ステーションビル(株)モンテメール事務局 ☎32-8011

芦屋に花と夢を～花の小鉢プレゼント～
日時 4月7日(土)、8日(日)
会場 JR芦屋駅北側の駅西商店街各加盟店
対象 駅西商店街各加盟店でお買物の皆さん(先着2,000人)
問い合わせ 駅西商店街(株)アライ電化 ☎22-9513

教育の EDUCATION ページ

このページの問い合わせは
学校教育課(☎38-2087)へ

平成11・12年度 芦屋市教育委員会基礎学力向上研究指定

授業研究発表会

精道小学校(平成12年11月2日)、浜風小学校(平成13年1月31日)で授業研究発表会が行われました。平成14年度から完全実施される新学習指導要領を踏まえ、「総合的な学習のカリキュラム開発」(精道小学校)、「新教育課程の編成」(浜風小学校)の研究に取り組み、その成果を発表しました。

新しい学習指導要領
学習指導要領とは
全国のどこにいても一定の教育水準の教育が受けられるように学校のカリキュラム編成の基準として定められているもの
改訂のねらい
豊かな人間性や社会性、国際社会に生きる日本人としての自覚を育成する
自ら学び、自ら考える力を育成する
ゆとりのある教育活動を展開する中で、基礎・基本の確実な定着を図り、個性を生かす教育を充実する
各学校が創意工夫を生かして特色ある教育、特色ある学校づくりを進める
「生きる力」とは
自分で課題を見つけ、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、行動し、よりよく問題を解決する能力
自らを律しつつ、他人と協調し、他人を思いやる心や感動する心など豊かな人間性とたくましく生きるための健康と体力
総合的な学習の時間が新設(小学3年生以上)
この時間は子どもたちが各教科の学習で得た個々の知識を結びつけ、総合的に動かせることができることを目指す。

「読書に学ぶ」の学習で、子どもが、先生のお薦めの本は「どんな本?」「ぼくも子ども読書年」等それぞれテーマを追究し、読書の世界を広げる学習をしました。また、「ポラントニア探し隊」調べ隊「やってみ隊」
五年生「輝く自分を目指して」
「読書に学ぶ」の学習で、子どもが、先生のお薦めの本は「どんな本?」「ぼくも子ども読書年」等それぞれテーマを追究し、読書の世界を広げる学習をしました。また、「ポラントニア探し隊」調べ隊「やってみ隊」
五年生「輝く自分を目指して」
「読書に学ぶ」の学習で、子どもが、先生のお薦めの本は「どんな本?」「ぼくも子ども読書年」等それぞれテーマを追究し、読書の世界を広げる学習をしました。また、「ポラントニア探し隊」調べ隊「やってみ隊」
五年生「輝く自分を目指して」

平成12年度 芦屋市吹奏楽連盟
「定期演奏会」
芦屋市内で活動する吹奏楽関係者が一堂に会する定期演奏会。出演者全員による「ミリタリーエスコート」「ブラジル」の合同演奏も予定しています。
日時 3月25日(日)午後1時～(開場:午後0時30分)
会場 ルナ・ホール
出演 芦屋市吹奏楽団 潮見小学校金管バンド
山手中学校吹奏楽部 精道中学校吹奏楽部
潮見中学校吹奏楽部 県立芦屋高校吹奏楽部
県立芦屋南高校吹奏楽部

総合的な学習のカリキュラム開発 精道小学校
三年生「好きやねん芦屋」
自分の身近な公園や市の施設、学校について調べました。精道小学校を昭和十四年に卒業した十一人のかたがたが学校訪問された時、さすがさ、三人の子もがインタビューにきました。紙には、質問する内容を整理し、録音テープも持ち、「当時の松の木の様子を教えてください」「そのころ、楽しかったことは何ですか?」「うちがったことは、どんなことですか?」等の質問をし、昔の学校の様子を研究しました。
四年生「芦屋川を探る」
毎月、芦屋川へ行って見ます。生き物や芦屋川の源流、草花やごみについて、子どもたちは自分の課題について調べ、考えをまとめた。一年間、地域の川を調査する学習で、芦屋川の自然や働きが身近になりました。
「読む」力については、本に親しもうとする意欲や態度、資料を吟味し活用する力を育てることはもとより、子ども一人ひとりが多様な世界と出会い、自分の考えを深める機会として、「読む」活動を大切にしていきたく考えました。
そこで、「読む」機会(場)を保障す

はじめに考えたこと
総合的な学習の時間の実施にあたり、浜風小学校児童の学習実態を見つめたとき、いわゆる読み・書き・計算を含めた基礎的な学力・学習スタイルの定着の重要性があげられました。
特に「読む」力については、本に親しもうとする意欲や態度、資料を吟味し活用する力を育てることはもとより、子ども一人ひとりが多様な世界と出会い、自分の考えを深める機会として、「読む」活動を大切にしていきたく考えました。
そこで、「読む」機会(場)を保障す
導入して
平成十一年九月より導入したこの「浜小タイム」でしたが、子どもたちは比較的スムーズに受け入れられたように思われます。朝の会・授業との切り替えもスムーズに集中し本に向かえるようになってきた。
また、本に親しむ環境が日常的にあることで、自然と関心が「本」や「読書」に向かい、本を通じて子どもたちが同士の関係の深まりを見せています。保護者からは、「本の話題を兄弟でやるなんて考えられなかった。」
六年生「命の大切さを伝えよう」
戦争中の食糧体験などの活動を通して命の大切さを学びました。そのことを音楽会で発表した。一年生や二年生などの学年に伝えたりしました。
研究成果と課題
子どもたちは、学校中の教職員へ質問をしたり、地域のかたへ働きかけたりして、生きた知

歴史散歩 ④
伊能忠敬と芦屋(古文書探訪3)
昨年来、伊能忠敬一七四五(一八一八)の足跡を追体験する企画が各地で催されたのを存じのりかたも多いことでしょう。幕府天文方として各地を測量した伊能は晩学の人で、天文測量を実践的に身につけたのは米穀取引や酒造業などの家業を隠退した後のことであつたと言われています。測量のため全国を旅したことは言ってもありませんが、芦屋地方には文化二年(一八〇五)をはじめ同五、六年の三回通過したことが確認されています。当時伊能は六十歳を越えており、その意味でもこの測量行が、いかに身体的・精神的に大変であったかが伺えるのです。
芦屋には、文化三年の測量時の史料天文方御役人・測量御用一付越前守用御書帳が残されています。そこには、伊能が山陽筋測量の途次、打出・芦屋・三奈・津村を通過するに際して、周辺の村々が彼ら一行の宿泊費や通信連絡費、庄屋の集金費など諸雑費を村割りで負担したことが記されています。各村は本年費の他にこのような臨時道徳税を支払ったわけで、さうや、伊能の一行は歓迎すべからざるお客さんであったと言えるでしょう。
歓迎はしないが、幕府御用で全同行脚の途上にある一行に失礼があつてはならぬと各村は必死で先回りして情報を収集しています。雨が降って日程が替わりはしないか、当村の到着予定時刻はいつ頃かなど、青い顔をして来訪に備える庄屋の様子がかがえる史料と言えるでしょう。
文化五年(一八〇五) 天文方御役人 測量御用一付越前守用御書帳 十月

「読む」機会(場)を保障すること
「浜小タイム」を設定しました。もちろん、朝一番のスタートを静かな落ち着いた雰囲気での読書から始めたことは、子どもの一日の学習に向かう姿勢としてぜひとも定着してほしい要素を含んでいなければなりません。
導いて
平成十一年九月より導入したこの「浜小タイム」でしたが、子どもたちは比較的スムーズに受け入れられたように思われます。朝の会・授業との切り替えもスムーズに集中し本に向かえるようになってきた。
また、本に親しむ環境が日常的にあることで、自然と関心が「本」や「読書」に向かい、本を通じて子どもたちが同士の関係の深まりを見せています。保護者からは、「本の話題を兄弟でやるなんて考えられなかった。」
六年生「命の大切さを伝えよう」
戦争中の食糧体験などの活動を通して命の大切さを学びました。そのことを音楽会で発表した。一年生や二年生などの学年に伝えたりしました。
研究成果と課題
子どもたちは、学校中の教職員へ質問をしたり、地域のかたへ働きかけたりして、生きた知



「読む」機会(場)を保障すること
「浜小タイム」を設定しました。もちろん、朝一番のスタートを静かな落ち着いた雰囲気での読書から始めたことは、子どもの一日の学習に向かう姿勢としてぜひとも定着してほしい要素を含んでいなければなりません。
導いて
平成十一年九月より導入したこの「浜小タイム」でしたが、子どもたちは比較的スムーズに受け入れられたように思われます。朝の会・授業との切り替えもスムーズに集中し本に向かえるようになってきた。
また、本に親しむ環境が日常的にあることで、自然と関心が「本」や「読書」に向かい、本を通じて子どもたちが同士の関係の深まりを見せています。保護者からは、「本の話題を兄弟でやるなんて考えられなかった。」
六年生「命の大切さを伝えよう」
戦争中の食糧体験などの活動を通して命の大切さを学びました。そのことを音楽会で発表した。一年生や二年生などの学年に伝えたりしました。
研究成果と課題
子どもたちは、学校中の教職員へ質問をしたり、地域のかたへ働きかけたりして、生きた知

ごあんない Report

お知らせ

人間ドックの受け付けは4月3日から市立芦屋病院が実施する人間ドックの「成人病検診」および「成人病・癌検診」コースの申込受付を4月3日(火)から行います。希望者は国民健康保険証と印鑑を持って下記(市役所 番窓口)へ。対象者に制限あり。先着順。詳しくは、「広報あしや」特集号でお知らせいたしますので、お確かめの上、申し込みください。 園保険年金課保険係(☎38-2035)

『親子自然教室』登録者募集 ■小学生と保護者30組(応募者多数の場合は抽選) ■年6回(内、宿泊観察会1回)、休日に野外で植物や昆虫などの観察、採集等を親子で行い、自然とふれあい楽しむ 園交通費の実費(宿泊観察会は宿泊費の実費) 園はがきに教室名、郵便番号、住所、参加者全員の氏名、生年月日(学校名・学年)、電話番号を記入し下記へ。 < 3月23日必着 > 園児童センター(☎22-9229 〒659-0061 上宮川町10-5)

交通遺児就学奨励金 交通事故により保護者を失った交通遺児に対し、芦屋市社会福祉「友愛」基金より就学奨励金を支給します。 対象：交通事故により保護者を失い、市内に住所を有する小・中・高校生 支給額...小・中学生/月額5,000円、高校生/月額10,000円 支給月...毎年9月および翌年3月の2回に分けて当該月までの分を銀行口座へ支給 園福祉課保護・母子福祉係(☎38-2042)

高齢者バス運賃割引証の切り替え ■3月31日現在、満70歳以上の市民のかた 園3月16日～30日(土・日・祝日除く)、9時～17時15分 園市役所南館玄関ホール、ラポルテ市民サービスコーナー。4月1日以降は高年福祉課窓口 必要なもの...平成13年3月31日まで有効な割引証 住所・氏名・生年月日が確認できる公的機関発行の証明書(健康保険証など)。 * 4月1日以降に満70歳を迎えられるかたは、住所・氏名・生年月日が確認できる公的機関発行の証明書(健康保険証など)を持参の上、誕生日以降に高年福祉課へ園高年福祉課(☎38-2044)

緑化ポイントを巡る 「芦屋の景観を考える会」の皆さんと精道小学校区緑化ポイントをウォッチング 園3月24日(土)13時～17時 園市役所前北広場集合 園船越辰緒氏(緑化委員) 園500円 園都市計画課(☎38-2109)

3 / 15 (9:30 ~) ~ 4 / 1 (~ 9:30)		開始時刻	
1時間目	00	みてみて9(番組ガイド)	6:00
	05	あしやNOW(*)	8:30
	35	とびだせスタジオ	11:00
		あしやレポート(*)	13:30
		「アライブ芦屋~市民たちの手作りコンサート」	16:00
2時間目	50	芦屋の人(*)	18:30
		「コヌックシェルさん(トルコ貿易商)」	21:00
	00	芦屋市民企画番組(*)	7:00
	20	「芦屋の小さな物語」	9:30
	30	「暮らしの情報(再)」	12:00
	30	「家庭の介護」	12:00
	50	「暮らしの情報(再)」	14:30
55	「新浜保育所の1日」	14:30	
	「三田谷学園の学芸会」	17:00	
	「救急当番医」	17:00	
	「芦屋市の相談窓口」	19:30	
00	ニッポンみたま(30分番組)	22:00	
	「STOP! 高齢者の交通事故」	22:00	

放送時間 午前6:00～午後11:30(上記の順に午前6時から2時間30分サイクルで7回繰り返し放送します) (*印の番組はビデオの貸出可) 広報チャンネルに関する問い合わせ 広報課 ☎38-2006 CATV加入に関する問い合わせ 園ケーブルネット神戸芦屋(J-COM神戸・芦屋) ☎0120-13-8160

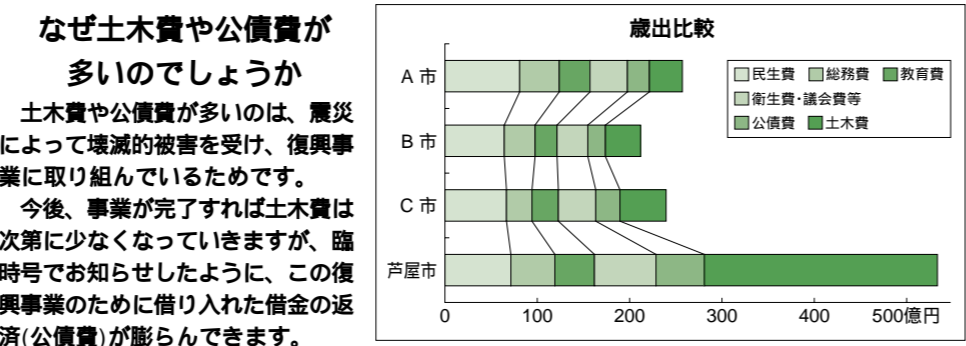
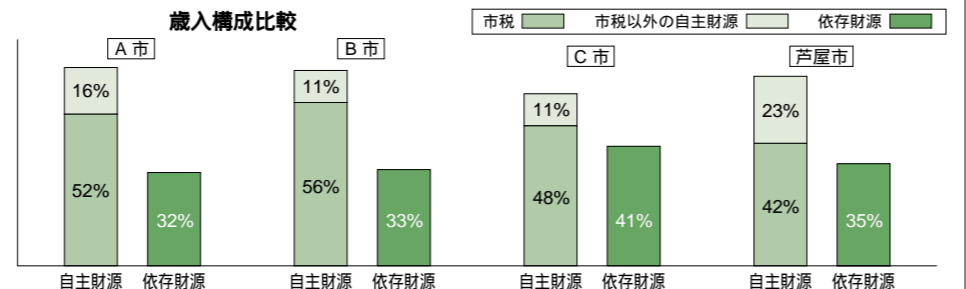
厳しい状況が続く 芦屋市財政

問い合わせ 企画課(行政改革担当) ☎38-2005

「広報あしや」2月26日臨時号で、昨年11月に策定した「第3次芦屋市行政改革大綱」の概要についてお知らせいたしました。(臨時号は2月26日の新聞に折り込み、集会所等に配布しました) 今回は、芦屋市の財政について、少し角度を変えてご説明します。

芦屋市の財政状況を他市と比較しました

本来芦屋市は、県下でも有数の財力豊かなまちであり、震災がなければ、ハード・ソフト両面で、さらなる発展を遂げていたはず。 下図をご覧ください。類似団体比較といって、芦屋市と人口や産業の形態など行政規模の似通った都市の中から3市を選び、それぞれの平成10年度の収支決算額を比較してみました。 歳入については、税金など市が集める自主財源と、国や県からの補助金等によって代表される依存財源の2種類に分けて、それぞれが各市



なぜ土木費や公債費が多いのでしょうか

土木費や公債費が多いのは、震災によって壊滅的被害を受け、復興事業に取り組んでいるためです。 今後、事業が完了すれば土木費は次第に少なくなっていきますが、臨時号でお知らせしたように、この復興事業のために借り入れた借金の返済(公債費)が膨らんでいきます。

芦屋市が「倒産」の危機に

災害復旧・復興の事業実施にあたっては、事業費の40%近くは国県から財政支援を受けてきましたが、残りのほとんどは借金(市債)で充てられました。 国や県に対しては引き続き財政支援を求めています。 芦屋市に対しては引き続き財政支援を求めています。 基本的には市民の皆さんからの税金を頼りに、借金の返済をしていかなければなりません。 このため、行政改革に努め、市民の皆さんのご協力を得るなど、自助努力

どのような影響が出てくるのか

仮に財政再建準用団体になった場合、基本的に芦屋市がこれまでのように自主的に予算編成する権限を大幅に制限され、国で承認された再建計画の下での運営を迫られます。 従って今まで国の基準に定められた範囲を

次回には、「倒産」の危機的な事態を避けるため、これまで市が行ってきた行革と、今後をどう乗りきっていくかについて、お知らせします。

TATAMIサロン

芦屋の代表的な特産品であった「打出焼」展と講演会

おしゃべり音楽会 名曲コンサート

日時 4月21日(土)午後1時30分～3時

会場 市民センター 音楽室

出演 渡辺雅子(ソプラノ)、黒江薫(メゾソプラノ)、高野麻里子(ピアノ)

曲目 浜辺のうた/初恋/アレレヤ/セギディリヤ ほか

申し込み 往復はがきに参加者全員の氏名・住所・電話番号を記入の上、4月4日(水)までに、下記へ

問い合わせ 公民館 ☎35-0700 (〒659-0068 業平町8-24)

平成13年度の主な事業	(単位:千円)
(1)生活環境の充実	
防災無線整備事業	4,363
耐震性防火水槽設置事業	92,000
(2)保健・福祉の充実	
(仮称)三条デイサービスセンター整備事業	115,123
南芦屋浜地区生活援助員派遣事業	43,471
ノンステップバス導入補助事業	3,125
(3)教育・文化の充実	
岩園小学校校舎整備事業	1,338,907
中学校耐震整備事業	40,000
旧三条小学校跡地施設整備事業	44,685
インターネット技能講習推進事業	22,886
(4)都市基盤の整備	
土地区画整理事業(中央、西部)	4,960,014
都市計画道路街路事業	3,367,777
J R 芦屋駅南地区市街地再開発事業	254,366
南芦屋浜地区幹線道路整備事業	1,000,200
南芦屋浜都市公園整備事業	3,888,000
大気汚染対策緑地建設事業(総合公園整備)	1,268,650
南芦屋浜地区廃棄物運搬用バイプライン施設整備事業	151,405
区画整理事業に要する公園整備事業	1,159,928
火葬場整備事業	297,576
(5)行政基盤の構築	
公文書公開関係経費	2,044
行政評価システム研究経費	7,093
住民基本台帳ネットワークシステム開発経費	151,243

市民1人当りに使われるお金			
土木費	244,211円	消防費	14,757円
公債費	110,341円	議会費	5,608円
民生費	93,439円	商工費	4,455円
教育費	70,558円	予備費	1,186円
総務費	48,203円	災害復旧費	711円
衛生費	45,647円	農林水産業費	234円
諸支出金	14,839円	労働費	228円
合計		654,417円	

*市民1人当りに使われるお金は、それぞれの歳出額を平成13年2月1日現在の推計人口(84,350人)で割った額です。なお、同額の収入があります。

芦屋川カレッジ15周年 公開講座

『大量流通と生活』

あらためて振り返る高度成長の意味

日時 3月22日(木) 午前10時～11時半

会場 市民センター301室

講師 日置弘一郎氏(京都大学教授)

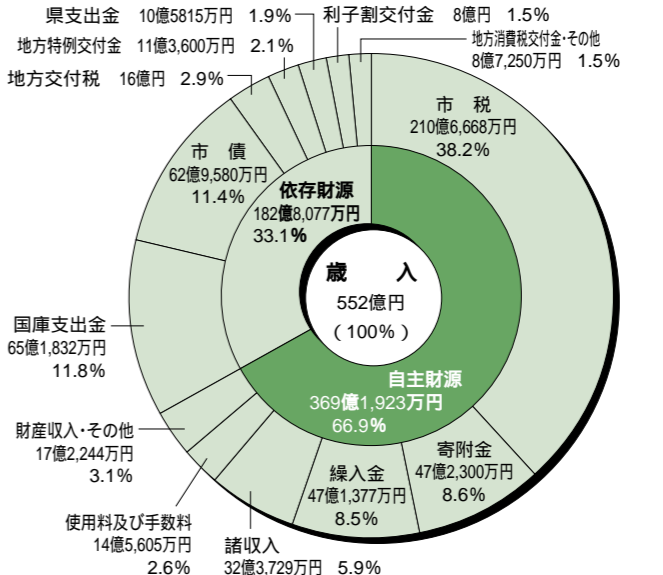
申し込み 不要。直接会場へ

問い合わせ 文化振興財団 ☎31-4962

市の予算は、一般会計、特別会計、企業会計、財産区会計の4種類の予算で構成されています。 一般会計は、住宅や道路・公園の整備、教育・福祉のサービス等、行政運営の基本的な経費に使われる予算です。特別会計は、一般会計とは別に特定の収入・支出を一般のものとは区別して別個に処理するための予算です。企業会計は、病院事業と水道事業の2つです。 これらの会計を全部合わせた予算総額は、865億3,445万円です。この予算で震災復興事業の推進と財政の健全化の両立に配慮しながら、市民の皆さんの生活に必要な事業を行なってまいります。市の代表的な予算である一般会計予算について説明します。

【歳入】

歳入のうち、最も多いのは市税です。市民の皆さんや事業者から納めていただく税金で、全体の約40パーセントを占めています。前年度に比べ少し増えています。その次に多いのは国庫支出金で、約12パーセントを占めています。対象事業の増減により変動します。市債は、区画整理事業などの震災復興事業や学校などの建設事業の財源として使い、前年度より約6億円増えています。市債は、市の借金ですが住宅や学校など、一度に多額のお金が必要ときに借り入れます。長期間にわたり、分割して返済するため半年度の財政負担は軽減され、市税などの財源を他の事業に使うことができます。また、将来、施設を利用する人にも公平に負担していただけることになります。 しかし、どうしても不足する財源は、市の貯金である基金を取り崩します。前年度より約8億円取り崩し額を減らすことができました。



【歳出】

歳出では、区画整理事業や街路事業などの震災復興事業の関係で土木費が一番多くなっています。 公債費は、震災復興事業等で発行した市債の償還が増加していることによります。 民生費は、旧三条小学校を改修してデイサービス事業を実施する費用などで増加しています。 教育費は、山手小学校校舎整備工事が完成したことなどにより、前年度より減少しています。 その他、平成13年度予算では、不要不急の事業は極力行わず、IT施策の推進、教育・青少年育成対策、環境対応などの経費に財源を重点的に配分し、21世紀の幕開けを迎え、活気あふれる豊かな生活環境づくりを目指してまいります。

第41回 市民寄席 桂米朝独演会

日時 4月13日(金)午後6時30分開演(午後6時開場)

会場 ルナ・ホール

出演 桂米朝、桂千朝、桂米八、桂米吉

入場料 (前売)2,500円(当日)3,000円 全席指定

前売り券売り切れの場合、当日券は発売しません。お子さんの入場はご遠慮ください。

チケット発売 市民センター内グリーン業平、モンテメール大蓄市役所売店、大丸芦屋店商品券売り場、文化振興財団事務所、びあ、ローソンチケット

問い合わせ 文化振興財団 ☎31-4962

平成13年度予算(案)概要

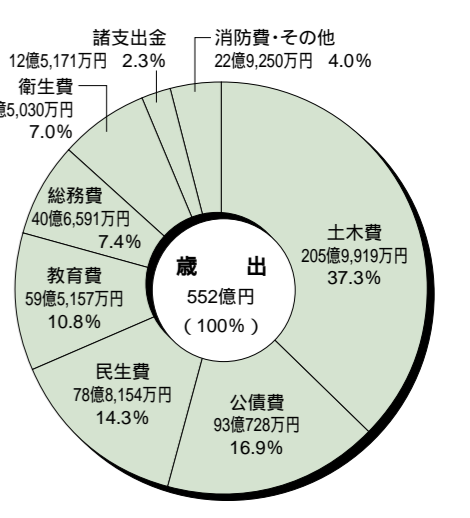
震災復興事業の推進

財政の健全化

を目指して

問い合わせ 財政課 ☎38-2011

平成13年度予算(案)	()内は増減率
一般会計	552億円 (3.5)
特別会計	219億7,500万円 (9.0)
国民健康保険事業	54億7,200万円 (9.6)
下水道事業	47億7,900万円 (28.8)
公共用地取得費	1億9,700万円 (53.8)
都市再開発事業	2,800万円 (3.4)
老人保健医療事業	79億6,900万円 (1.8)
駐車場事業	2億7,600万円 (3.4)
介護保険事業	32億5,400万円 (12.5)
企業会計	93億3,245万円 (3.5)
病院事業	60億1,903万円 (1.2)
上水道事業	33億1,342万円 (13.4)
財産区会計	2,700万円 (5.3)
合計	865億3,445万円 (0.2)



9ch 広報番組ガイド

放送時間 午前6:00～午後11:30(上記の順に午前6時から2時間30分サイクルで7回繰り返し放送します) (*印の番組はビデオの貸出可) 広報チャンネルに関する問い合わせ 広報課 ☎38-2006 CATV加入に関する問い合わせ 園ケーブルネット神戸芦屋(J-COM神戸・芦屋) ☎0120-13-8160